

## 令和元年度燕市歯科保健計画の進捗状況

健康づくり課

## 燕市歯科保健計画 指標項目一覧

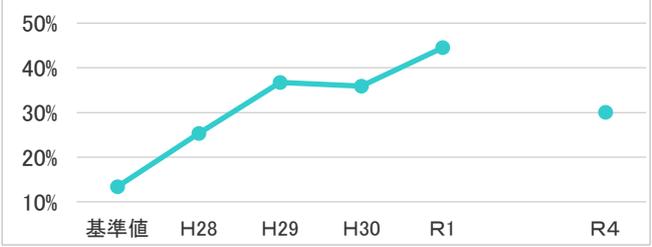
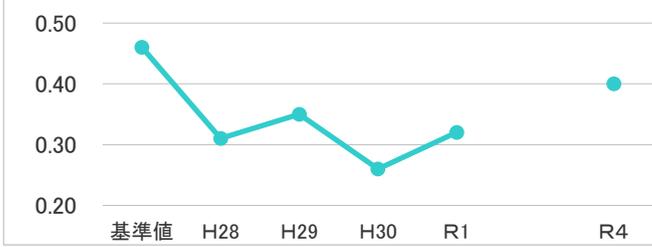
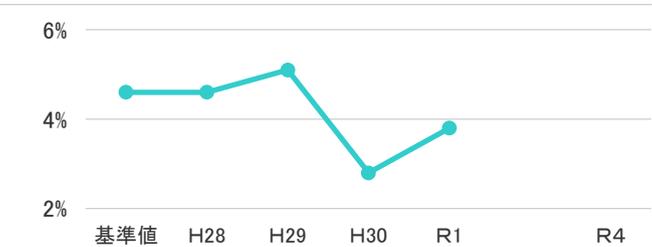
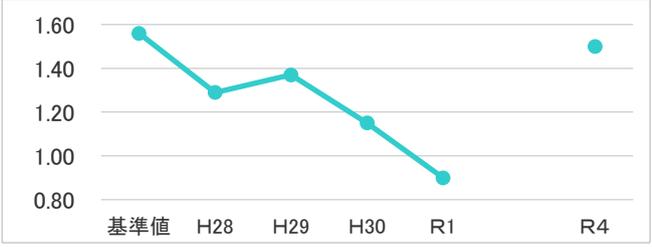
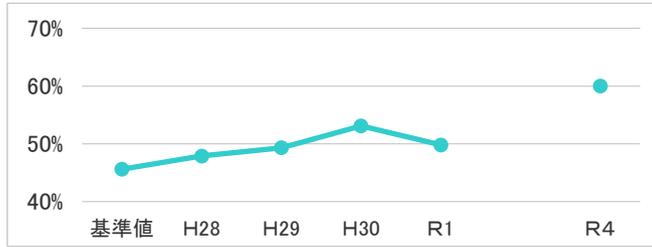
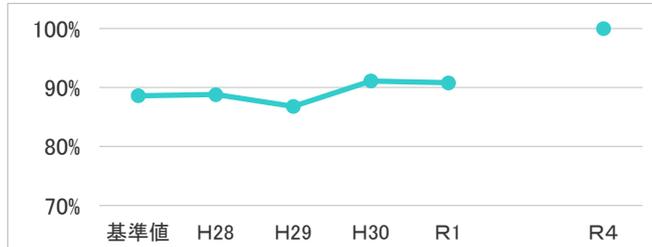
計画期間：平成28年度～R4年度

進捗基準：◎目標値を達成、○概ね達成（80%以上）、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満

【目標達成率（%）＝（R元年度調査時実績値－基準値）÷（R4年度目標値－基準値）】

指標項目	計画策定時基準値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値	R元年度実績値	R4年度目標値	評価
<b>育ちざかり（妊婦・0～5歳）</b>							
妊婦歯科健診受診率	13.4%	25.3%	36.7%	35.9%	44.5%	30%	◎
3歳児一人平均むし歯数	0.46本	0.31本	0.35本	0.26本	0.32本	0.4本以下	◎
3歳児むし歯有病者率	13.5%	11.7%	11.8%	8.3%	7.8%	10%以下	◎
むし歯を3本以上持つ3歳児の割合	4.6%	4.6%	5.1%	2.8%	3.8%	減少	◎
5歳児一人平均むし歯数	1.56本	1.29本	1.37本	1.15本	0.9本	1.5本以下	◎
よく噛んで食べている児の割合（1歳6か月児）	45.6%	47.9%	49.3%	53.1%	49.8%	60%	△
大人が仕上げ磨きをする割合（3歳児）	88.6%	88.8%	86.8%	91.1%	90.8%	100%	△
<b>育ちざかり（6～18歳）</b>							
12歳児一人平均むし歯数	0.28本	0.24本	0.23本	0.18本	0.23本	減少	◎
小学校児の歯肉炎有病者率	7.1%	10.0%	9.6%	9.4%	9.6%	7%以下	▼
中学校児の歯肉炎有病者率	23.9%	17.0%	15.2%	15.3%	13.0%	20%以下	◎
<b>働きざかり（19～64歳）</b>							
自分の歯を有する人（55～64歳）で24本以上の割合	62.4%	64.7%	61.2%	67.3%	67.5%	70%以上	△
現在、歯や口の状態に満足している人（35～44歳）の割合	46.9%	47.5%	50.4%	53.4%	52.6%	60%以上	△
定期的に歯科健診を受診している人（35～44歳）の割合	37.5%	36.7%	44.7%	47.2%	49.6%	40%以上	◎
歯間部清掃用具を毎日使用している人（35～44歳）の割合	19.3%	17.8%	22.2%	20.6%	24.3%	30%以上	△
燕市特定健診等受診者のうち、成人歯科健診や唾液潜血反応検査を受診した人（40～75歳）の割合	19.2%	23.2%	21.4%	20.1%	23.4%	20%以上	◎
<b>活躍ざかり（65歳以上）</b>							
定期的に歯科健診を受診している人（65～74歳）の割合	52.9%	53.5%	53.6%	54.1%	56.1%	60%	△
お口の体操などの飲み込みにくさを改善する方法を知っている人（65～74歳）の割合	18.2% (H27年度)	20.6%	22.2%	24.4%	28.4%	30%	○
<b>介護を要する人 障がい者（児）</b>							
かかりつけ歯科医を持つ人の割合 （※次回の調査は平成31年度予定）	未調査	58.1%	-	-	64.3%	増加	◎
訪問歯科健診事業を知っている人の割合 （※次回の調査は令和元年度予定）	未調査	39.1%	-	-	41.9%	増加	◎
燕・弥彦在宅歯科医療連携室における訪問歯科健診および歯科衛生士訪問数（アセスメント件数）	35件	66件	44件	14件	36件	80件	△
燕・弥彦在宅歯科医療連携室における専門職に対する口腔ケア実施研修利用件数	6件	5件	7件	5件	3件	10件以上	▼

# 燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

育ちざかり (妊婦・乳幼児0～5歳)	よく噛んで楽しく食べる習慣と歯磨き習慣に親子で取り組む																
行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者が毎日仕上げ磨きをする</li> <li>○おやつの内容や回数を気をつけて食べさせる</li> <li>○よく噛んで食べる習慣をつける</li> <li>○定期的に歯科健診・フッ化物歯面塗布を受ける</li> </ul>																
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】																
<b>①妊婦歯科健診受診率</b>  <table border="1" data-bbox="215 849 799 936"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.40%</td> <td>44.5%</td> <td>30%</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	13.40%	44.5%	30%	◎	<b>②3歳児一人平均むし歯数</b>  <table border="1" data-bbox="942 849 1527 936"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.46本</td> <td>0.32本</td> <td>0.4本</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	0.46本	0.32本	0.4本	◎
基準値	R元年度	目標値	達成度														
13.40%	44.5%	30%	◎														
基準値	R元年度	目標値	達成度														
0.46本	0.32本	0.4本	◎														
<b>③3歳児むし歯有病率</b>  <table border="1" data-bbox="215 1248 799 1335"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.5%</td> <td>7.8%</td> <td>10%以下</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	13.5%	7.8%	10%以下	◎	<b>④むし歯を3本以上持つ3歳児</b>  <table border="1" data-bbox="942 1248 1527 1335"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.6%</td> <td>3.8%</td> <td>減少</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	4.6%	3.8%	減少	◎
基準値	R元年度	目標値	達成度														
13.5%	7.8%	10%以下	◎														
基準値	R元年度	目標値	達成度														
4.6%	3.8%	減少	◎														
<b>⑤5歳児一人平均むし歯数</b>  <table border="1" data-bbox="215 1648 799 1735"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.56本</td> <td>0.9本</td> <td>1.5本以下</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	1.56本	0.9本	1.5本以下	◎	<b>⑥よく噛んで食べている児の割合(1歳6か月児)</b>  <table border="1" data-bbox="942 1648 1527 1735"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45.6%</td> <td>49.8%</td> <td>60%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	45.6%	49.8%	60%	○
基準値	R元年度	目標値	達成度														
1.56本	0.9本	1.5本以下	◎														
基準値	R元年度	目標値	達成度														
45.6%	49.8%	60%	○														
<b>⑦大人が仕上げ磨きをする割合(3歳児)</b>  <table border="1" data-bbox="215 2048 799 2135"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88.6%</td> <td>90.8%</td> <td>100%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	88.6%	90.8%	100%	○	<b>&lt;課題と今後の方向性&gt;</b> <p>定期的な歯科健診により、むし歯数や有病率は減少傾向にあります。今後は幼児歯科健診での集団指導等で家庭でのセルフケアのさらなる定着に向け取り組んでいきます。また、むし歯を複数本もつ児に対して、生活・家庭環境を踏まえた指導を強化していきます。</p>								
基準値	R元年度	目標値	達成度														
88.6%	90.8%	100%	○														

令和元年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		妊婦歯科健診の継続実施と拡充	
該当する事業		①妊婦歯科健診	
		②妊婦学級(歯の健康)	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・在宅歯科衛生士会
実施状況	内容	①妊婦を対象に、協力歯科医療機関で個別歯科健診の実施(問診、口腔内検査、歯科保健指導)	
		②妊婦学級(全3回コース)の2回目に、お口の健康について歯科衛生士による衛生教育の実施	
	取組み	①母子健康手帳交付の際に歯科健診受診票を交付し、助産師訪問等機会を捉え、受診勧奨している。	
		②妊娠期特有の口腔ケアやアドバイスだけでなく、子どもの歯の健康についても内容に取り入れている。	
	成果と課題	①H28年度からの個別健診を機に、受診率は年々増加傾向である。妊娠を機に歯科受診する例も多い。令和元年度より、妊婦医療費助成が償還払いから現物支給に変更したことで一層、歯周疾患予防や早期に治療できる体制が整っている。	
		②子どもの歯について、妊婦の関心は高く、生まれてくる子どもの歯科保健の意識高揚につながる。教室参加者は安定期に入る妊婦も多く、妊婦歯科健診の受診動機になっている。	
今後の取り組みと方向性		継続	今後も受診率向上のため、受診票交付時、助産師訪問、妊婦学級などで受診勧奨を継続。

重点的取り組み		歯科健診の受診しやすい体制づくり	
該当する事業		幼児歯科健診	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・在宅歯科衛生士会
実施状況	内容	1歳児・1歳6か月児・2歳児・2歳6か月児・3歳児を対象に、集団健診の実施(歯科健診、フッ化物歯面塗布、歯科指導)	
	取組み	フッ化物歯面塗布の際、全員に歯科衛生士による個別指導をし、1歳・2歳・2歳6か月児歯科健診では、媒体を用いて小グループ毎に指導もしている。むし歯がある場合、受診勧奨をしている。	
	成果と課題	健診受診率は常に90%前後と高く、むし歯がある子どもの数は減少傾向である。今後も歯科衛生士と連携し、仕上げ磨きなど家庭でのセルフケアを重要性について、保護者への働きかけを強化していく。	
今後の取り組みと方向性		継続	むし歯を複数本もつ児の共通点や背景など把握し、個別指導強化や集団指導に生かしていく。

令和元年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		園での歯科健診の継続実施、事後指導の強化	
該当する事業		園での歯科健診	
担当課	子育て支援課	関係機関	燕歯科医師会・幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	年1～2回、各園で集団歯科健診の実施 歯科健診結果報告通知の発行、受診勧奨および受診結果の把握	
	取組み	歯科健診結果報告通知を目立たせるよう色紙に印刷し、個別に声かけし、受診勧奨している。また、歯の健康に関する内容を園のお便りに掲載し、保護者へ歯科保健に関する啓発普及をしている。	
	成果と課題	歯科健診の事後指導について検討し、歯科健診結果報告通知を更新したことで、年々受診結果の把握が確実となり、保護者の意識も浸透してきている。	
今後の取り組みと方向性		継続 未受診者ゼロを目指し、取り組みの継続	

重点的取り組み		むし歯予防教室の継続実施	
該当する事業		①むし歯予防教室	
		②歯みがき講座	
担当課	①健康づくり課	関係機関	在宅歯科衛生士会・幼稚園・保育園・こども園 在宅歯科衛生士会・子育て支援センター
	②子育て支援課		
実施状況	内容	歯科衛生士による健康教育の実施(むし歯予防、ブラッシング等) ①年間市内10か所の園で実施 ②子育て支援センター事業の機会を捉えて実施	
	取組み	歯科衛生士と打合せをしながら、各園や支援センターの状況に合わせた教室運営をしている。	
	成果と課題	①近年は、参観後の実施等保護者も参加してもらい、子どもの歯を守るための共通認識を図っている。むし歯は減少傾向であるが、学童期の歯肉炎は増加傾向にあるため、仕上げ磨きの指導を強化していく。 ②仕上げ磨きのやり方や、食事・おやつとの与え方など、家庭ですぐに生かせる内容を取り入れていることにより、好評である。職員研修の一助にもなっている。今後も、保護者理解を更に深めるため講座を継続していきたい。	
今後の取り組みと方向性		継続 親子で参加できる教室・講座で、幼児期から家庭でのセルフケアの定着を目指し、保護者へアプローチしていく。	

令和元年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		フッ化物洗口事業の継続実施	
該当する事業		フッ化物洗口	
担当課	健康づくり課	関係機関	幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	週2回、幼稚園・保育園・こども園でフッ化物洗口の実施	
	取組み	年中組4歳児よりフッ化物洗口を実施している。	
	成果と課題	市内全園で実施し、施設内実施率は95%以上と高い。幼児期からフッ化物を利用したむし歯予防が継続できる環境が整備されている。	
今後の取り組みと方向性		継続 園（年中）から中学卒業まで継続実施	

重点的取り組み		よく噛む習慣が定着するような指導の強化	
該当する事業		①離乳食相談会 ②噛み応えのある給食メニュー【参考資料4】	
担当課	①健康づくり課	関係機関	①食生活改善推進委員
	②子育て支援課		②幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	①毎月1回、離乳食に関する相談会の実施 離乳食各期(初期・中期・後期)のお話、離乳食実物展示、個別相談	
		②給食等で「よく噛む」ことの指導	
	取組み	①その時期の旬の野菜を取り入れた手軽に作れるレシピを提案している。離乳食実物展示の際に、食生活改善推進委員より調理の工夫等話する時間を設けている。	
②三角食べやよく噛むように声かけと同時に、家庭での取り組みを協力してもらえよう、保護者への発信もしている。			
成果と課題	①月齢に応じた「噛む」ことについて、各期の集団指導やレシピに取り入れている。食生活改善推進委員は、自身の経験談や実際に調理のワンポイント等具体的に話すので、保護者に好評である。		
	②よく噛んで食事をすることや姿勢を正しくするなどの食事マナーの習慣化に向け、児への声かけや保護者への啓発を実施。		
今後の取り組みと方向性		継続 食事とむし歯予防を関連づけた取り組みの継続	

令和元年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		歯の衛生が保たれない場合、 ネグレクト等も考慮した関わり、関係機関との連携	
該当する事業			
担当課	(社会福祉課)	関係機関	幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	必要時、関係機関と連携し、対応する	
	取組み	受診勧奨しても未受診等気になる家庭は必要時、社会福祉課へ相談し、対応策を検討している。	
	成果と課題	過去に対象を取り巻く環境を考慮した個別の関わりで受診勧奨をしたところ、歯科治療が開始された事例あり。	
今後の取り組みと方向性		継続	

## 燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

<b>育ちざかり</b> (児童・生徒6～18歳)	歯や口腔を守る食習慣や生活習慣を知り、自ら実践する																
行動目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>○親子で歯磨きの習慣をつける</li> <li>○自分の歯や口腔に関心を持ち、歯を丈夫にする方法を学び、実践する</li> <li>○歯肉炎やむし歯になったら早めに受診する</li> <li>○歯やからだの健康を考えた食事やおやつ摂り方の工夫をする</li> </ul>																	
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】																
①12歳児一人平均むし歯数 <div style="text-align: center;"> </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.28本</td> <td>0.23本</td> <td>減少</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	0.28本	0.23本	減少	◎	②小学校児の歯肉炎有病者率 <div style="text-align: center;"> </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.1%</td> <td>9.6%</td> <td>7%以下</td> <td>▼</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	7.1%	9.6%	7%以下	▼
基準値	R元年度	目標値	達成度														
0.28本	0.23本	減少	◎														
基準値	R元年度	目標値	達成度														
7.1%	9.6%	7%以下	▼														
③中学校児の歯肉炎有病者率 <div style="text-align: center;"> </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23.9%</td> <td>13.0%</td> <td>20%以下</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	23.9%	13.0%	20%以下	◎	<課題と今後の方向性> 概ね改善傾向にありますが、小学校の歯肉炎有病率は微減傾向で、目標値達成に至っていません。目標値達成に向けて、学童期だけでなく、幼児期からの望ましい生活習慣(仕上げ磨きや食事・おやつの与え方など)の定着に向け、関係機関と連携し、保護者や家族を巻き込みながら、取り組みを一層強化していきます。								
基準値	R元年度	目標値	達成度														
23.9%	13.0%	20%以下	◎														

令和元年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(児童・生徒6～18歳)】

重点的取り組み		既存事業を活用した高校生向け歯周病予防の啓発	
該当する事業		赤ちゃん交流会	
担当課	健康づくり課	関係機関	県立吉田高校・児童館
実施状況	内容	赤ちゃん交流会の機会を捉え、高校生に向けた歯周病予防の啓発	
	取組み	既存事業の流れの中に「歯周病予防」等についての健康教育を組み込み、実施している。	
	成果と課題	高校生だけでなく、参加している赤ちゃんの保護者への啓発普及もできる。他事業実施の際も「歯」の健康教育を取り入れていく。	
今後の取り組みと方向性		継続 今後も既存の事業を利用し実施	

重点的取り組み		むし歯歯周病予防教室の継続実施	
該当する事業		児童生徒歯科衛生指導	
担当課	学校教育課	関係機関	在宅歯科衛生士会・小学校・中学校
実施状況	内容	各学校で毎年1回、歯科衛生士による歯みがき指導の実施	
	取組み	養護教諭と歯科衛生士とで事前打ち合わせをし、対象(学校や学年)に応じた内容で指導している。	
	成果と課題	歯みがき状況を教室前後で比較すると、指導の効果を実感できる。とくに低学年は上手に歯みがきすることが難しい場合も多く、仕上げ磨きや見守りが必要である。幼児期からの仕上げ磨きの大切さ等、保護者への啓発普及を強化していく。給食においても、噛むことや食事のマナー等指導を継続していく。	
今後の取り組みと方向性		継続 むし歯・歯肉炎予防のため、児童・生徒の口腔ケアの定着および、家庭への啓発普及の継続	

重点的取り組み		フッ化物洗口事業の継続実施	
該当する事業		フッ化物洗口	
担当課	健康づくり課	関係機関	小学校・中学校
実施状況	内容	週1回、学校でフッ化物洗口の実施	
	取組み	市内全小中学校で実施しており、フッ化物洗口の希望の有無は入学時に把握し、その意向を卒業まで継続する扱いとしている。	
	成果と課題	施設実施率は100%であり、施設内実施率も98%以上と高い。12歳児一人平均むし歯数は減少傾向にあり、フッ化物を利用したむし歯予防が継続できる環境が整っている。	
今後の取り組みと方向性		継続 園(年中)から中学卒業まで継続実施	

## 燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

<b>働きざかり (19～64歳)</b>	歯や口腔を自分で守る食習慣や生活習慣の継続と、 かかりつけ医でのセルフケアチェックを定着する																
行動目標	○歯の健康が全身の健康に影響することを理解する ○定期的に歯科受診をし、専門的な口腔ケアを受ける ○セルフケアの大切さを理解し、自身の健康維持や8020達成のために行動する																
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成（80%以上）、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】																
①自分の歯を有する人(55～64歳)で24本以上の割合	②現在、歯や口の状態に満足している人(35～44歳)の割合																
<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>62.4%</td> <td>67.5%</td> <td>70%以上</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	62.4%	67.5%	70%以上	○	<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>46.9%</td> <td>52.6%</td> <td>60%以上</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	46.9%	52.6%	60%以上	○
基準値	R元年度	目標値	達成度														
62.4%	67.5%	70%以上	○														
基準値	R元年度	目標値	達成度														
46.9%	52.6%	60%以上	○														
③定期的に歯科健診を受診している人(35～44歳)の割合	④歯間部清掃用具を毎日使用している人(35～44歳)の割合																
<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37.5%</td> <td>49.6%</td> <td>40%以上</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	37.5%	49.6%	40%以上	◎	<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19.3%</td> <td>24.3%</td> <td>30%以上</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	19.3%	24.3%	30%以上	△
基準値	R元年度	目標値	達成度														
37.5%	49.6%	40%以上	◎														
基準値	R元年度	目標値	達成度														
19.3%	24.3%	30%以上	△														
⑤燕市特定健診等受診者のうち 成人歯科健診や唾液潜血反応検査を受診した人 (40～75歳)の割合	<課題と今後の方向性> 8020達成のため、定期的な健診やセルフケアの定着を目指し、まずは歯科受診のきっかけづくりとして、唾液潜血反応検査や歯周疾患検診の受診率のさらなる向上を目指します。 特に歯周疾患検診の受診率向上ため、案内の工夫やPRの強化に努めます。																
<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19.2%</td> <td>23.4%</td> <td>20%以上</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※成人歯科健診は、H28年度より歯周疾患検診へ変更し、医療機関委託となった。</p>	基準値	R元年度	目標値	達成度	19.2%	23.4%	20%以上	◎									
基準値	R元年度	目標値	達成度														
19.2%	23.4%	20%以上	◎														

令和元年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【働きざかり(19～64歳)】

重点的取り組み		成人歯科健診の強化(重点的に節目検診取組む)	
該当する事業		①歯周疾患検診	
		②唾液潜血反応検査	
		③3歳児健診受診児保護者の歯科健診	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・在宅歯科衛生士会
実施状況	内容	①40歳・50歳・60歳・70歳を対象に、協力歯科医療機関で個別歯科健診の実施(問診、口腔内検査、歯科保健指導)	
		②特定健診全会場で、歯周疾患スクリーニングテストの唾液潜血反応検査の実施	
		③3歳児健診において、保護者の歯科健診と保健指導の実施	
	取組み	①対象者に受診票を個別通知し、受診勧奨している。健診の認知度を上げるよう、協力歯科医療機関にポスターを掲示している。	
		②特定健診での問診・指導の際、定期歯科受診をしていない人や口腔状態が気になる人へ積極的に検査を勧めている。陽性反応の場合、診療依頼書を発行し、医療機関への受診勧奨をしている。	
		③3歳児健診個別通知に保護者の歯科健診の案内も記載し、健診受付時に受診を勧めている。	
成果と課題	①「定期歯科健診を受ける割合」は増加傾向であるが、歯周疾患検診受診率は減少傾向である。		
	②簡易にできる検査なので、特定健診会場にて検査を希望する者も多い。診療依頼書返却率は25%弱と横ばいである。陽性反応者の多くはかかりつけ医を持っている。		
	③受けやすい体制が好評で、受診率は3割強と増加傾向である。		
今後の取り組みと方向性	継続	歯周疾患検診の受診率向上に向けて、より積極的な受診勧奨の実施。	

令和元年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【働きざかり(19～64歳)】

重点的取り組み		歯の健康についての啓発普及の拡充	
該当する事業		①歯の健康川柳	
		②各種教室等	
担当課	健康づくり課	関係機関	①燕歯科医師会
			①保健推進委員・食生活改善推進委員
実施状況	内容	①特定健診期間中に「歯の健康川柳」を募集し、市長や歯科医師会長が選考した句を歯のイベントにて表彰	
		②歯に関する内容も盛り込んだ健康づくり教室等の企画実施	
	取組み	①歯の質問票の裏面を川柳応募用紙にし、特定健診会場で募集する他、広報で広く周知し、かんたん申請でも受付している。 ②令和元年度は栄養教室で、歯科衛生士による保健指導を実施した。	
	成果と課題	①幅広い年齢層から100句程の応募があり、歯やお口の健康を考えるきっかけになっている。入選作品とその句を詠んだ思いを広報に掲載することで反響も良く、歯の健康づくりの啓発につながっている。 ②毎年1～2会場で実施。講話の他、実技指導もあり、参加者にとって好評で、歯の健康を考えるきっかけとなっている。	
今後の取り組みと方向性		継続	今後もイベントを通して、歯の健康について考えるきっかけづくりを行っていく。

令和元年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【働きざかり(19～64歳)】

重点的取り組み		歯の健康に関心を持つ企業を増やす啓発	
該当する事業		①職域健診	
		②つばめ元気かがやきポイント事業	
		③職場での歯科健診(パナソニック健保での取り組み)	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕 吉田 分水商工会・企業・三条保健所
実施状況	内容	①職域健診にて、歯の健康づくりの啓発普及	
		②健康づくりスタート企業・団体の募集及び社員の健康づくりの応援	
		③30～65歳までの5歳刻み年齢を対象に歯科健診、保健指導の実施	
実施状況	取組み	①商工会と連携し、職域健診において、リーフレットを配布。	
		②市と協働し健康づくりを推進する企業・団体を募集している。	
		③歯科健診の他、三条保健所との協働事業として、定期健診時のアンケート実施と、食後の歯磨きが定着するよう歯ブラシ配布や歯科保健に関する健康情報を提供いただき、社員食堂の卓上POPで掲示している。	
実施状況	成果と課題	①生活習慣病予防PRと合わせ実施していることにより、生活を振り返るきっかけとなっている。	
		②スタート企業や団体は年々増えている。職場や団体全体で健康づくりの一環として、元気かがやきポイント事業に取り組むことで、歯に関する健康行動の定着も期待できる。	
		③歯科健診は時間割を組んで、個別に通知することで、就業中でも受診しやすい体制を整えている。社員の意識も「歯科健診は受けるもの」と浸透しており、受診率は7～8割で推移している。交替勤務など業務都合による未受診者対応と、5年に一度の該当年齢時しか健診を受けない方へのアプローチが課題である。	
今後の取り組みと方向性		継続	歯科健診に関する制度の啓発により定期歯科健診の受診者増を図っていく(パナソニック健保では、個別歯科健診受診に対する助成金制度や、社内歯科健診は該当年齢以外でも受診(自己負担あり)が可能である)。

## 燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

<b>活躍ざかり (65歳以上)</b>	<b>定期歯科健診と嚥下体操で食べる楽しみがいつまでも持てる</b>																
行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯の健康が全身の健康に影響することを理解する</li> <li>○定期的に歯科受診をし、専門的な口腔ケアを受ける</li> <li>○セルフケアの大切さを理解し、自身の健康維持や8020達成にむけて行動する</li> <li>○嚥下体操を実施し、飲み込みなど改善することを実感する</li> </ul>																
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成（80%以上）、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】																
①定期的に歯科健診を受診している人(65～74歳)の割合	②お口の体操などの見込みにくさを改善する方法があることを知っている人(65～74歳)の割合																
<table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52.9%</td> <td>56.1%</td> <td>60.0%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	52.9%	56.1%	60.0%	○	<table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未調査</td> <td>28.4%</td> <td>30%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	未調査	28.4%	30%	○
基準値	R元年度	目標値	達成度														
52.9%	56.1%	60.0%	○														
基準値	R元年度	目標値	達成度														
未調査	28.4%	30%	○														
<課題と今後の方向性> 改善傾向にあります。オーラルフレイル予防の意識づけとして、唾液潜血反応検査等啓発普及できる場を活かし「お口の体操」を勧めています。今後も、関係機関と連携を図りながら、お口の健康を切り口に健康づくりの取り組みを推進していきます。																	

令和元年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【活躍ざかり(65歳以上)】

重点的取り組み		口腔ケアの重要性を情報提供	
該当する事業		ふれあいサロン	
担当課	長寿福祉課	関係機関	社会福祉協議会・在宅歯科医療連携室
実施状況	内容	サロン等高齢者の集まる機会を捉え、在宅歯科医療連携室より派遣された歯科衛生士による「歯の健康出前講座」の実施	
	取組み	サロン代表者に「歯の健康出前講座」を周知し、申込みを募っている。	
	成果と課題	参加者の反応はととも良く、毎年10か所前後で実施している。	
今後の取り組みと方向性		継続	フレイル予防の観点からも、口腔に関心を持ってもらえるよう、今後も広く情報提供する機会を作っていく。

重点的取り組み		介護予防事業と連携した口腔ケアの啓発強化	
該当する事業		健康教室(短期集中型通所・訪問型サービスC)	
担当課	長寿福祉課	関係機関	各地区福祉会・在宅歯科医療連携室
実施状況	内容	基本チェックリスト該当し、参加意向がある者を対象に、生活機能改善のための運動と口腔機能向上の複合プログラムの実施	
	取組み	通所型は口腔機能向上プログラムを3回(全18回)、訪問型は週1回、自宅に訪問し、3か月間集中的に実施している。	
	成果と課題	口腔ケアが必要な場合、在宅歯科医療連携室へつないでいる。	
今後の取り組みと方向性		継続	

重点的取り組み		後期高齢者歯科健診の実施	
該当する事業		長寿歯科健診	
担当課	保険年金課	関係機関	燕歯科医師会
実施状況	内容	76歳・80歳を対象に、協力歯科医療機関で個別歯科健診の実施(歯・口腔衛生・咬合状態の確認、歯周疾患の有無、嚥下機能チェック)	
	取組み	対象者に受診票を個別通知し、受診勧奨している。	
	成果と課題	受診率は増加傾向である。口腔機能の低下により介入が必要と思われる方を抽出し、健康教室につなげる等長寿福祉課と連携を図っている。	
今後の取り組みと方向性		継続	

## 燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

介護を要する人・障がい者(児)	口腔ケアの実施と治療を受けやすい環境をつくり、食生活に満足できる																
行動目標	○介護に関わる人が適切な口腔ケア等を必要な人に実施できるよう、技術を習得する ○治療を受けたい人が受けられる体制を整える																
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】																
①かかりつけ歯科医を持つ人の割合	②訪問歯科健診事業を知っている人の割合																
<table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未調査</td> <td>64.3%</td> <td>増加</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(3年毎に調査を実施、次回調査は令和元年度予定)</p>	基準値	R元年度	目標値	達成度	未調査	64.3%	増加	—	<table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未調査</td> <td>41.9%</td> <td>増加</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(3年毎に調査を実施、次回調査は令和元年度予定)</p>	基準値	R元年度	目標値	達成度	未調査	41.9%	増加	—
基準値	R元年度	目標値	達成度														
未調査	64.3%	増加	—														
基準値	R元年度	目標値	達成度														
未調査	41.9%	増加	—														
③燕・弥彦在宅歯科医療連携室における訪問歯科健診および歯科衛生士訪問数	④燕・弥彦在宅歯科医療連携室における専門職に対する口腔ケア実施研修利用件数																
<table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35件</td> <td>36件</td> <td>80件</td> <td>▼</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	35件	36件	80件	▼	<table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6件</td> <td>3件</td> <td>10件以上</td> <td>▼</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	6件	3件	10件以上	▼
基準値	R元年度	目標値	達成度														
35件	36件	80件	▼														
基準値	R元年度	目標値	達成度														
6件	3件	10件以上	▼														
<課題と今後の方向性> ①②につきましては、令和元年度調査の結果、改善傾向となっております。引き続き、関係機関と連携しながら、PRをはじめ、取り組みを推進していきます。																	

令和元年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【介護を要する人・障がい者(児)】

重点的取り組み		訪問歯科健診事業の周知強化	
該当する事業		①訪問歯科検診事業（実施主体：新潟県）	
		②歯っぴー健診（上記の事業を利用し燕市独自実施）	
担当課	長寿福祉課	関係機関	在宅歯科医療連携室・三条保健所
実施状況	内容	在宅要介護者等を対象に、口腔機能の向上と要介護状態の悪化予防を目的とした無料訪問歯科健診の実施	
	取組み	①平成31年度の県主催事業終了に伴い、在宅要介護3以上の方を対象に、介護保険証発送時に在宅歯科医療連携室の無料歯科相談を案内周知している。	
		②平成31年度の県主催事業終了を受け、事業名を令和元年度から歯っぴー相談と変更した。要介護2以下から初めて要介護3になった方を対象に、介護保険証発送時に在宅歯科医療連携室の無料歯科相談を案内周知すると同時に、担当ケアマネにも連絡をし、利用を勧めている。	
成果と課題	①事業終了に伴い、訪問歯科健診の実績は例年より減少した。今後は、同等のサービスを提供していくために、在宅歯科医療連携室の無料歯科相談を紹介していく。		
	②新規要介護3認定者は減少傾向ではあるが、①と同様に在宅歯科医療連携室の協力を得ながら、実施していく。		
今後の取り組みと方向性		継続	

重点的取り組み		福祉の手続きの際に歯科相談窓口の周知強化	
該当する事業		①在宅重度障がい児(者)の歯科保健推進事業	
		②歯科相談窓口の周知	
担当課	(社会福祉課)	関係機関	在宅歯科医療連携室・三条保健所
実施状況	内容	①在宅重度障がい児(者)が身近な地域で歯科的支援を受けられる体制の整備	
		②障害者手帳・療育手帳交付時に歯科相談窓口等の周知	
	取組み	①燕・弥彦地域の歯科保健担当者が、意見交換会(燕歯科医師会・三条保健所主催)において、必要な様式や研修会について検討を重ね、H30年12月より事業開始となり、順調に進んでいる。	
成果と課題	事業および窓口PRのチラシを作成し、関連する部署での配布に加え、対象児(者)との関わりが多い、相談支援専門員へも機会をと捉えて周知しており、歯科相談等利用につながり始めている。今後も、事業の体制をはじめ、事例検討等、継続的に関係機関で協議していく。		
今後の取り組みと方向性		継続	

## 燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

生涯を通じて	歯や口腔の健康を保ち、「食べる楽しみ」「すてきな笑顔」「楽しい会話」でいきいきと過ごす
行動目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>○歯磨き習慣やよく噛む習慣を定着させる</li> <li>○定期的に歯科健診を受ける</li> <li>○健診・教室などの事業を通して、歯の健康意識を高める</li> </ul>	

### 令和元年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

#### 【生涯を通じて】

重点的取り組み		つばめ元気ががやきポイント事業の啓発とともに歯の健康づくりに取り組む	
該当する事業		①つばめ元気ががやきポイント事業 ②歯っぴーフェア	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・元気ががやきポイント事業協賛企業 保健推進委員・食生活改善推進委員・元気磨きたい
実施状況	内容	①元気ががやきポイント手帳において、歯に関する項目の設定 1Pメニュー「毎食後の歯磨き」「一口30回以上よくかんで食べる」 5Pメニュー「歯科健診・唾液潜血反応検査」「歯っぴーフェア」 ②歯のイベント「歯っぴーフェア」を燕歯科医師会主催のもと共同開催	
	取組み	歯っぴーフェアの集客を増やすために、近年はつばめ元気ががやきポイント事業抽選会と同時開催している。また、在宅歯科医療連携室や元気ががやきポイント事業協賛団体・企業(薬剤師会等)と連携し、様々な切り口で歯の健康づくりについて啓発している。	
	成果と課題	①元気ががやきポイント手帳を継続的に取り組むことで、歯の健康行動の定着を図ることにつながっている。 ②歯のイベントブース数は年々増加し、健康づくりにつながる趣向を凝らした内容で、参加者の意識を高めるきっかけとなっている。	
今後の取り組みと方向性		継続	保健推進委員・食生活改善推進委員・元気磨きたいが元気ががやきポイント事業に継続して取組み、その成果をイベントだけでなく、市民への発信を強化していく。